

基本情報

氏名

高根沢 紀子 (たかねざわ のりこ)

所属

英語科

職名

専任講師

出身大学

2003年3月 成蹊大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程 単位取得満期退学

取得学位

芸術学修士 (日本大学、1999年3月)

専門分野

日本文学 (近・現代)

担当科目 (2011年度)

国語表現法ⅠⅡ、日本近代文学A B、日本現代文学セミナー、児童文学セミナー、児童文学、日本文学B

所属学会、委員会

日本近代文学会、昭和文学会、日本国語教育学会、川端康成学会、芸術至上至上主義文芸学会

受賞

なし

研究情報

研究課題 日本近・現代の小説

研究業績

[著書]

* 「「ある人の生のなかに」論」、川端文学研究会編『川端文学への視界 11』(共著)、pp. 62-78、教育出版センター 1996. 6

* 「「舞姫」論」、田村充正・馬場重行・原善編『川端文学の世界 2 その展開』(共著)、pp. 252-276、勉誠出版 1999. 3

* 「川端康成と写真」、田村充正・馬場重行・原善編『川端文学の世界 3 その背景』(共著)、pp. 265-277、勉誠出版 1999. 5

* 「出産観」、田村充正・馬場重行・原善編『川端文学の世界 5 その思想』(共著)、pp. 171-180、勉誠出版 1999. 5

* 「「笹舟」論」、川端文学研究会編『論集川端康成 掌の小説』(共著)、pp. 245-251、おうふう 2000. 3

- * 「〈動物ランド〉小説づくりをインスパイアする立役者」『動物ランド』、『AERA Moon』村上春樹がわかる。』（共著）、pp. 139-141、142-147、朝日新聞社 2001. 12（後に、「INK」（台湾の雑誌）2004・4に転載。掲載タイトル「激発小説創作靈的重要角色」）
- * 「名前のない〈わたし〉—『神様』、原善編『現代女性作家読本①』川上弘美』（共著）、pp. 50-53、鼎書房 2005. 11
- * 「随想 私の愛するノート 小川洋子」、精選現代文改訂版編集委員会編『精選現代文改訂版〈現文038〉指導資料1』（共著）、pp.19-39、大修館書店 2008. 4
- * 「「草之丞の話」—〈つめたいよるに〉風太郎の〈話〉—」、現代女性作家読本刊行会編『現代女性作家読本⑩ 江國香織』（共著）、pp. 8-11、鼎書房、2010. 9
- * 「腐女子的童話——『行ってみたいな、^{よそ}童話の国』」、現代女性作家読本刊行会編『現代女性作家読本⑫ 長野まゆみ』（共著）、pp. 30-33、鼎書房、2010. 10

[編著書]

- * 『〈現代女性作家読本②〉小川洋子』鼎書房、2005. 11
- * 『〈現代女性作家読本⑦〉多和田葉子』鼎書房、2006. 10
- * 『〈川端康成作品論集成 第3巻〉禽獣・抒情歌』おうふう、2010. 3（「抒情歌」部分）
- * 立教女学院短期大学編『〈現代女性作家読本別巻②〉西加奈子』鼎書房、2011. 3
- * 立教女学院短期大学図書館編『福田清人・人と文学』鼎書房、2011. 3

[共編著]

『〈中日女性作家新作大系・日本方陣〉』（全10巻）、中国文聯出版 2001. 9（川村湊、唐月梅監修 于榮勝、王中、許金龍、竺家榮、楊偉、与那覇恵子、清水良典、原善、高根沢紀子、藤井久子編集）

[論文]

- * 「吉本ばなな「ムーンライト・シャドウ」論—さつきの〈感傷〉／ばななの〈感傷〉—」、『作新国文』第9号、1998. 1
- * 「走向 放的女性群体—日本女作家的現状」、『外国文学動態』（中国社会科学院）、2000. 2
- * 「小川洋子の文学世界」、『上武大学経営情報学部紀要』第24号、2001. 12
- * 「加藤幸子の感覚世界」、『世界文学』（中国社会科学院）、2002. 4
- * 「加藤幸子の感覚世界」、『上武大学経営情報学部紀要』第25号、2003. 4
- * 「想像する力—小川洋子作品の魅力」、『国語教室』78号、2003. 11
- * 「小川洋子「妊娠カレンダー」論」、『上武大学経営情報学部紀要』第26号、2003. 12
- * 「世界の片隅で、名前をさけぶ—鷺沢萌」、『国語教室』、2004. 11
- * 「川端康成「弱き器」論—その構造を中心に」、『武蔵野大学文学部紀要』2004. 12
- * 「物語の秘密—小川洋子の文学」『国語教室』85号、2007. 5
- * 「志賀直哉「赤西蠣太」のリアリティ」、『立教女学院短期大学紀要』41号、2010. 3

[学会発表]

- * 「「舞姫」から見た女性像」、第4回川端文学日中共同シンポジウム、1999. 6. 28
- * 「「弱き器」——その構造を中心に」、川端文学研究会 第125回例会、2002. 4. 27
- * 「小川洋子「妊娠カレンダー」論」、昭和文学会 第31回研究集会、2002. 12. 14
- * 「志賀直哉「赤西蠣太」のリアリティ」、全国大学国語国文学会大会、2005. 6. 5
- * 「小川洋子「刺繍する少女」——永続する《夢》」、女性文学会、2005. 11. 15
- * 「「級長の探偵」は名作か」、川端文学研究会第150回例会、2009. 12. 19

[その他]

- * 「吉本ばなな参考文献目録」、『作新国文』12、2001. 3
- * 「〈研究展望〉川端康成・横光利一」、『文学・語学』169号、2001. 3
- * 「図書館奇譚」「氷男」「人喰い猫」「鏡の中の夕焼け」「ふわふわ」「朝からラーメンの歌」「もし僕らのことばがウイスキーであったなら」「土の中の彼女の小さな犬」「おだまき酒の夜」「ドーナツ再び」「ハイヒール」「フリオ・イグレスィアス」、村上春樹研究会編『村上春樹作品研究事典』、鼎書房 2001. 6
- * 「日中女性文学シンポ 交友、作品紹介に意義」、『下野新聞』、2001. 10. 9
- * 「少年の更正、問われる大人の責任 「海辺のカフカ」考」、『東京新聞 夕刊』、2002. 11. 14
- * 「葉山嘉樹 セメント樽の中の手紙」、『高等学校国語総合指導資料』大修館書店、2003. 4
- * 「池上嘉彦 言葉についての新しい認識」、『高等学校国語総合指導資料』大修館書店、2003. 4
- * 「ネット時代のドラえもん——田ロランディ「アンテナ」」、『ハヌルハウス』3号、2003. 10
- * 「解説」、田ロランディ『アンテナ』、中国文聯出版 2004. 4
- * 「小川洋子 アンジェリーナ」、『高等学校現代文1指導資料』、大修館書店 2004. 4
- * 「志賀直哉 赤西蠣太」、『高等学校現代文2指導資料』、大修館書店、2005. 4
- * 「〈書評〉『島尾敏雄「死の棘」日記』、『私小説研究』7、2006. 3
- * 「〈すばる文学カフェ〉マッチ売りの少女あるいは物語の力について 小川洋子『ミーナの行進』『犬のしっぽを撫でながら』『おとぎ話の忘れ物』、『すばる』7、2006. 7
- * 「小川洋子「刺繍する少女」、与那覇恵子編『現代女性文学を読む』、双文社出版 2006. 9
- * 「小川洋子さんに聞く 物語のたのしみ」、『武蔵野日本文学』16、2007. 3
- * 「川端康成 バッタと鈴虫」、『高等学校国語総合2指導資料』、大修館書店 2007. 4
- * 「日本語と日本人」、志村有弘編『司馬遼太郎事典』（共著）、pp. 164-165、勉誠出版 2007. 12
- * 「随想 私の愛するノート 小川洋子」、精選現代文改訂版編集委員会編『精選現代文改定版〈現文038〉指導資料1』、大修館書店 2008. 4

科研費、外部研究費等獲得実績

なし

その他の研究活動

なし

社会的活動

[講演]

- * 「〈現代女性文学〉小川洋子「妊娠カレンダー」 戸田市立図書館 2002. 3

- * 「〈太宰文学の中期〉「カチカチ山」 戸田市立図書館 2003. 2
- * 「〈太宰文学の前期〉「葉」 戸田市立図書館 2004. 3
- * 「〈鷺沢萌〉名前について」 戸田市立図書館 2005. 3
- * 「〈創作のすすめ 名前・名付け〉世界の片隅で、名前をさげぶ—鷺沢萌」 武蔵野大学日本語・日本文学講座 2005. 7
- * 「〈死者と交感する文学〉川端康成「抒情歌」 戸田市立図書館 2006. 2
- * 「〈死者と交感する文学〉吉本ばなな「ムーンライト・シャドウ」 戸田市立図書館 2006. 2
- * 「小川洋子さんに聞く 物語のたのしみ」 武蔵野大学日本語・日本文学講座 2006. 11 (対談形式で聞き手)
- * 「〈掌編小説の楽しみ〉川端康成「弱き器」「笹舟」 戸田市立図書館 2007. 2
- * 「村上春樹の短篇の魅力—「緑色の獣」他」 戸田市立図書館 2008. 2
- * 「〈太宰治を読む百夜百冊 第十六夜〉嘘と真実—「カチカチ山」(『お伽草子』)」 三鷹ネットワーク大学 2008. 10
- * 「太宰治『晩年』を読む①「魚服記」 立教女学院短期大学公開講座、2009. 2
- * 「太宰治『晩年』を読む②「葉」 立教女学院短期大学公開講座、2009. 2
- * 「今、プロレタリアを読み直す—「蟹工船」ほか」 戸田市立図書館、2009. 2
- * 「再読、川端康成 (1) —「抒情歌」、立教女学院短期大学公開講座、2010. 2
- * 「再読、川端康成 (2) —「弓浦市」、立教女学院短期大学公開講座、2010. 2
- * 「志賀直哉、短篇のおもしろさ—「赤西蠣太」、戸田市立図書館、2010. 2
- * 「川端康成の児童文学」、立教女学院短期大学図書館、2010. 11